

ファインネットワーク通信

2015年9月号

こんにちは！
ファインネットワークの赤木広紀です。

お盆が終わってから、朝晩は少し涼しく感じる今日このごろです。こうして少しずつ秋が近づいてきますね。



お盆は、岐阜にある母方のご先祖様のお参りに行ってきました。14代前のご先祖様まで記載した家系図を持って、本家や総本家にご挨拶に行きました。

アポ無しで訪れたにも関わらず、親戚がちょうど一堂に会っていて、皆さんに家系図を見てもらえたりと、嬉しい出来事もありました。

家系図を見るたびに、誰一人欠けても今の自分はいないんだなあと、不思議な感覚がいつも湧いてきます。

どうしても日々は、目先のことにとらわれがちですが、時間軸をグッと伸ばし、ご先祖様が生きてきた人生を想像すると、何だか自分の悩みも小さく。

それでは今月もよろしくお願いします！

「場」の持つ力について思うこと

NLP トレーナー山崎啓支さんが大阪で開催しているNLP プラクティショナーコースを受講しています。

学びや気づきは山ほどありますが、その一つが「場」の持つ力です。



毎回、椅子をキレイに整えて、深呼吸をし、心を落ち着かせてからレクチャーが始まります。確かにいい状態だとは感じるのですが、正直、場の大切さはピンと来ていませんでした。

ところが最近、ある講演会に行ったときのこと。講師の話は良かったのですが、私語があちこちから聞こえるなど、会場の雰囲気はずっとざわざわしていました。

正直、その雰囲気にビックリしましたが、全く異なる

2つの場を参加者の立場で体験できたことで、場の大切さが肌感覚で分かりました。

話がどれだけ良かったとしても、話を聴ける場になっていないと伝わらない。そのことを体感できたある意味、貴重な経験でした。

「場」というのは、別の言葉でいうと風土でしょうか。人と人との関係性が創りだす目には見えないけれど身体では実感できる何か。

その「場」が安心、安全なものだと自然と心が開き、オープンに人と関わりますが、そうでないと、自分の身を守るほうに意識が向いてしまう。

とは言え、「場」は自分の外側にあるのではなく、自分も「場」を作っている一員でもあるんですね。

そのことを忘れず、まずは自分自身が安心、安全の存在でありたい。そう思いを新たにしました。

「銀河鉄道の夜」をプラネタリウムで観ました



夏の最後の家族イベントは「銀河鉄道の夜」を観に、ものすごく久しぶりのプラネタリウム鑑賞。

期待して行きましたが、期待を遥かに越えた素晴らしさでした。

映画館の3D映画がかわいらしく思えるぐらい桁外れのスケールで、本当に銀河鉄道の世界に入ってしまったかのようなようでした。

帰ってからネットで調べてみたら、製作が9年前の2006年と分かって、ビックリ！！ しかも制作に3年かかっているの、10年以上前のCG技術で、あのクオリティの高さというのは、本当に驚きでした。

制作エピソードに「現在はあきらかにオーバースペックなデータですが、10年後には主流となるでしょう。」とあり、10年先を見越して創った製作者の心意気に感動がさらに増しました。

観客動員数がすでに100万人を突破したとあるので、ご存知の方もいるかと思いますが、今も全国各地のプラネタリウムで上映しています。機会があればぜひ！

プラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」メインサイト
<http://www.gingatetudounoyoru.com/>

次はアミーゴのコーナーです！→

アミーゴのゆるめる毎日

ファインネットワーク “福” 社長の朝比奈です。

電車で1時間以内のところに住んでいながらも、訪れたのは10年以上ぶりとなりました。

あの、超人気テーマパーク
ユニバーサルスタジオジャパン

「ディズニーランドってば！」
8歳の娘はことあるごとにPRします。

「ディズニーは遠いし、まずは近場からね」と娘をなだめ、人混み嫌いの夫も説得し、ようやくUSJへと足を運んだのです。

今回は我が家族と、義妹と姪っ子の5人で行きました。

8歳&4歳女兒は大はしゃぎで、あちこちにいる着ぐるみと写真撮ってました。



しかしまあ、色々な意味でフォーティー世代の親には厳しい場所だなと実感です。今回はそのことについてお話ししましょう。

まずは、体力的に厳しいです。20代の頃に3回ほどディズニーランドに行きました。当時は2時間3時間待ちでも何のそのでしたが。

それが今では、30分待ちでもゲンナリです。どんなに心惹かれるアトラクションでも、待ち時間の表示次第で、すぐ諦めました。

とはいえ、今のテーマパークはシステムチックになっています。その仕組みさえ知れば、待ち時間はかなり圧縮できて、ただ漫然と並ぶよりも、時間を有効に使うことができます。

USJには、たべ乗りやエクスプレスパスなど、様々な仕組みがあるのですが。

いかんせん、テーマパーク素人の私には仕組みが複雑です。義妹の説明を聞いても、今いち把握できません。



義妹がいたおかげで、いくぶん効率よくまわることが出来たし、夜のパレードも一番前を押さえることが出来ました。

昭和な夫婦ふたりでは、出来ない芸当です(笑)

「あーっ、楽しかった♪ また行きたいね」の言葉はなく、「やっぱ、疲れたなあー。もうしばらくいいわ。」と荷物を降ろすフォーティー夫婦。



テーマパークにも適齢期があるのでしょうか？ 私はどうに過ぎ去ったのだろうか、実感したUSJのひとつきでした。

これがオススメ！？



指先をキラキラ彩ると、女子力UPした気分です。ただ、私は爪が弱く、マニキュアを塗ると必ずトラブルが発生します。

爪の色は悪くなるわ、割れてくるわです。ブームにも関わらず、ここ10年くらいは遠ざかってました。

それでもサンダル履きの多い夏は、足元だけでもキラキラしたいですね。

爪にやさしいマニキュア とキーワードを打ち込むと、検索でヒットしました。

胡粉ネイル

胡粉とは、ホタテの貝殻を微粉末にして作られる顔料で、日本画の絵の具として使われている材料のひとつです。



何よりも私が惹かれたのは、「消毒用アルコール」で、簡単に落とせるところ。爪荒れの原因はマニキュア自体よりも、除光液と言われているので、これは有り難い。

早速、amazonで買い、レッツトライ！

体感1分程度で乾くので、普通のマニキュアよりも速いのではないのでしょうか。発色も普通のと遜色がないように感じます。いかんせん粘着力は弱いのか、剥げやすい気がします。よく動かす指の爪先は翌日にはマダラに。

あと、消毒用アルコールで落とせますが、拭き取りにはやや力がいらいます。

とまあ、天然素材のネイルにも一長一短がありますが、爪をいたわりながら、おしゃれしたい人はトライしてみてください。ちなみに、ネットでの販売がメインみたいですが、京都駅伊勢丹近くのSUVACOでも売ってます！

ファインネットワーク通信

発行者：赤木広紀・朝比奈映未

〒602-0853

京都市上京区宮垣町 94-102

TEL：075-951-6310

HP <http://www.finenetworld.com>

Facebook <https://www.facebook.com/finenetworld>

